



令和3年度 12月号 2年団 12月22日(水)

新学期への希望と決意を抱いて

皆さんにとって令和3年はどんな1年だったでしょうか。充実した1年となったでしょうか。今年度も残り3か月となりました。この学年、学級の友達との友情を更に深め、ともに助け合いながら日々を過ごしてほしいと思います。

来年は一人ひとりが自分の進路を切り開いていく、人生の節目とも言える大切な年となります。綾川中学校の最初の卒業生となる皆さんにとって、ますます有意義な1年となるように、2年団職員一同、心より願っています。

日	曜	行事予定
1	土	元日
2	日	休日
3	月	休日
4	火	
5	水	
6	木	
7	金	冬季休業日終了
8	土	
9	日	県新人(卓球)
10	月	成人の日
11	火	始業式 5時間授業
12	水	6時間授業*部活動なし
13	木	
14	金	
15	土	
16	日	
17	月	全校朝礼 学校集金引落日
18	火	スピーキングテスト
19	水	5時間授業*部活動なし
20	木	
21	金	英語検定
22	土	
23	日	
24	月	5時間授業*部活動なし
25	火	
26	水	6時間授業 *部活動あり
27	木	
28	金	代議員会
29	土	県新人(バレーボール)
30	日	県新人(バレーボール)
31	月	専門委員会

<総下校時刻> ~1月15日(金) 17:00

1月17日(月)~17:15

<2月の主な行事> 2月14日(月) 学習の診断

21日(月)22日(火)24日(木) 学年末テスト

~保護者の皆様へ~

冬休み中も、新型コロナウイルス感染予防としてご家庭での毎朝の検温、検温カードの記入、保護者による確認・押印・健康観察をお願いします。また、お子様についてのご相談や学校へのお問い合わせがありましたら、お気軽にご連絡ください。

◆ 欠席や遅刻の連絡は、7:15~8:00にお願いします(学年・組・お子様の名前をお知らせください。19:30~翌朝7:15および土、日、祝日は留守番電話対応になりますので、ご了承ください)。

◆ 1月の集金振替予定日は17日(月)です。口座の残高等、ご確認ください。

綾南中学校 TEL 876-1187

ホームページ <https://www.edu.ayagawa.ed.jp/ryonan-j/>

綾川町立中学校統合に向けた交流

12月15日(水)朝の会から1校時にかけて、本校の2年生と綾上中学校の2年生による、対面式及び交流授業が行われました。授業では、仲間づくりゲームや自己紹介、そして2年生全員による「バースデーチェーン」を行いました。これは「無言」で互いにジェスチャー等で確認しながら誕生日順に並ぶアクティビティのことです。バースデーチェーンが完成すると、体育館全体に拍手が広がり、両校の心が1つになったように感じられました。互いに統合への不安が少し和らいだようで、みんながにこやかに時間を過ごしました。至るところで「最初は不安だったけど、統合が楽しみになってきました。」という言葉が聞こえてきました。



校内人権旬間を終えて

11月29日(月)から12月17日(金)までの3週間を校内人権旬間として様々な取組を行いました。道徳の授業では、「元ハンセン病患者に対する差別」について考えたり、「命の大切さを学ぶ教室」では、交通事故でかけがえのない家族を失ったご遺族の講演を聞き、家族の思いを知ったりすることができました。また、生徒会本部役員による「人権劇」を通して、身近に起こりうるいじめについて考えました。最終日には人権旬間のまとめとして、1・2年生で合同の「人権集会」を行いました。

毎年、人権学習が実施されますが、なぜ、このような学習が必要なのでしょう。それは、私達の身の周りに、依然として「差別」や「偏見」があるからです。この地球上に住む全ての人々が、「差別」や「偏見」で苦しむことなく、幸せに過ごせるように、私達は人権学習を続けていく必要があります。この機会に、皆さんの周りを見てください。そして、自分自身の心の中をのぞいてみてください。「差別」や「偏見」をなくすために、私達にできることを互いに意識して生活していきましょう。

1日(水)人権道徳

「元ハンセン病患者に対する差別」生徒の感想より



この学習を通して、知らなかった、いや、知ろうともしなかったハンセン病やそれ以外の感染症を差別する心が、私たちにあるのかもしれないと思いました。今も、差別や偏見に苦しんでいる人がいます。正しい知識をもって差別をせず、偏見をもたない生き方をしなければいけません。

6日(月) 命の大切さを学ぶ教室(生徒の感想より)



- 交通事故の怖さ、「命」は儚いと思いました。その一瞬で何十年もの未来を失うからです。三浦さんが伝えてくれた「私たちは、加害者にも被害者にもなってはいけない」という意味を受け止め、毎日の交通安全を心掛けて行動したいです。
- 三浦さんのお嬢さんは、つらい思いをしている母親を思い、自分のつらさを悟られないように、心の内を隠し続けなければならなかった。そのことを知った三浦さんの思いは私の想像をはるかに超えるものでした。私は、もっと人の心を大切に、周りの人に目を向けたいと思います。